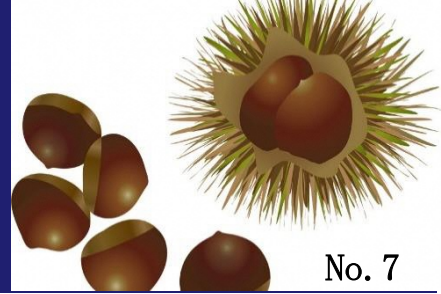


協力隊通信：美和地域

岩国市美和総合支所 農林建設課
地域おこし協力隊 沖野 修吾

TEL0827-96-1112



No. 7

今回は昨年ご報告した苗木育成のその後です。

桜の咲く時期が接木のタイミングと言われており、その前に掘り起こして移植しようと考えていました(一度移植のタイミングで根切すると徒長(とちょう)防止になると言われています)が、移植先の畑の準備を整えることができず、一部移植、一部元の畑で継続育成の形になりました。

苗木育成の成長経過

- 昨年6月にほ場へ植えた苗木は順調に育ち、今年の3月頃には接木ができる太さまで成長していました。通常接木のできる太さになるまで2年かかるともいわれていましたが、本当に成長が良く、ほぼ8割の苗木に接木することができました。
- 初年度の苗木は冬の時期、凍害にかかることがしばしばあるとの事で、植え付けてから2か月毎に軽く施肥をすると良いとのアドバイスを県職員の方からいただいていたので、8-8-8の肥料を2か月ごとに少量散布したのが効いていたのかもしれませんが。



移植に際して

- 土壌の準備ですが遊休農地をお借りしたので、管理はされていたものの地下茎やマルチの残渣を取り除きながら、耕さなければなりません。また、水はけの改善や土壌改良の為にほ場周りを明渠(めいきょ)として溝を切り、その後苦土石灰、牛糞堆肥とバーク堆肥、米糠を散布して耕しました。その時点では高畝を作ることですら難しい土質でした。
- 雑草管理も行い農地を使わずにただけでほ場を再度利用しようとするのと相当の労力と時間が必要になることが良く分かりました。一切管理を行うことなく放置されているほ場は想像を絶することと思います。そうした荒廃する要因がないように農地や集落全体を守るとは本当に大変な事なのだと重ねて考えるようになりました。



接木作業

- 桜の季節です♪昨年、母樹園のひこばえに接木をした経験がありましたが、今年は何十本と接木を行うことになりました。
- 皮継ぎで行っているのですが、形成層の部分を上手く剥がすことができるのかが成功の決め手ではないかなと今は感じています。
- 自分で採取した受粉樹用の筑波の穂木は全て芽が出なかったなので、選択した枝が良くなかったのではないかなど、採取の時からキチンと目を光らせなければならないと反省しています。



接木後の成長経過

- 系統樹210と211はほぼ100%成功しています。系統樹212が5割、受粉樹筑波は0%でした。
- 育成途中では、ひこばえや台木にした部分からの発芽が活発になる為、都度芽かきを行い、品種が変わらない様しっかりと管理しなければなりません。



今後の継続

- 健全な母樹育成、採取する枝の選抜、穂木の採取・保存、苗木の育成管理、接木技術等々、経験値を増やし毎年安定した結果を出さなければと反省しきりです。
- 失敗があると1年先の事になってしまうので。
- 実は...
- 今年播種する苗木育成...
- 失敗してしまっています...
- 少し結果が見えてきたらご報告いたします...